



双塔

カトリック新潟教会

2026年6月

No. 456

修道女の活動 —1885(明治18)年の頃—

主任司祭 田中 丈夫

明治初期の宣教を調べていると、宣教師の活動に目が行きがちだが、修道女会の働きを知っておくことも重要なことだと気付く。当時の修道女会の活動の一端を垣間見るために、以下の記事を参考にした。

【掲載: Les Missions catholiques, 1887年, p.473 付近】日本北部 — シャルトルの聖パウロ修道女会のシスター・ヴィタリーヌ・ジョゼフが1887年2月20日付で新潟から書き送る：

「始まったばかりの私たちの施設は、東京や函館のように栄えてはおりません。資金は非常に乏しく、30人の子どもたちで止めなければなりません。宣教修道女の心にとって、この犠牲は辛いものです。」

「私たちの小さな日本の少女たちは魅力的で、愛情深く、私たちが施すことに感謝しています。彼女たちは私たちの聖なる宗教をとて尊重しており、十分に教えを受けていても他の事情で洗礼を受けることができない時には、彼女たちにとって悲しいことです。実際、家族自身が洗礼を受けることに同意しない限り、誰もこの恵みを受けることはできません。キリスト教の生活に十分教育され形成された子どもたちが、異教徒の両親のもとに帰るのを見るのは私たちにとって辛いことです。」

「良家の16人の子どもたちが私たちの学校に通っています。彼女たちは編み物やかぎ針編みの仕事がとても好きです。私たちは要理も学ばせるようにしており、彼女たちはロザリオの唱和にも参加しています。日本人は教育に関して要求が厳しいです。政府が定めた学級規則に従わなければなりません。さもなければ通学生を受け入れることができません。」

「私たちはまた毎日、数人の日本人婦人にヨーロッパ式の手工芸の授業をしています。彼女たちは私たちの生活様式を知ることとても興味を持っています。すべてを捨てて外国の地に来て、この世の喜びを一切味わうことなく少女たちの教育に身を捧げる私たちの離脱の精神を賞賛しています。」(資料提供：福島綾子氏(九州大学芸術工学研究院准教授))

「1885年9月、ドルワール神父は仙台教会主任に、代わってルマレシャル神父が新潟教会主任になった。新しい主任がまず着手したのは、既に前任者によって手がけられていたシャルトル聖パウロ修道女会を新潟に招致し、教育事業を興す仕事であった。1878年来日し、函館で女学校、孤児院、診療所などを経営しているこの会の修道女4人は、教会敷地内にその住院が完成した1886年来潟し、女生徒、孤児、病人たちの世話に努めていた。」(『新潟カトリック教会百年の歩み』p21~p22)。

「明治前期のカトリック教会の宣教姿勢は近代化に苦しむ人々に手を差し伸べることでした。それは当時のカトリック教会の活動の中心が、棄児救済活動だったことに象徴されています。パリ外国宣教会の依頼を受けて来日した女子修道会<<1871年来日のサン・モール会、1877年来日ショファイユの幼きイエズス修道会、1878(明治11)年来日のシャルトル聖パウロ修道女会>>がいずれも到着直後に育児事業を始めています。」(三好千春著『時の階段を下りながら』近現代日本カトリック教会史序説 p50~p51)。

4月からNHK朝の連続テレビ小説「風薫る」がスタートした。以下のように解説されている。

「明治18(1885)年、日本で初めて看護婦の養成所が誕生したのを皮切りに、次々と養成所が生まれた。そのうちの1つ(ドラマでは梅岡女学校附属看護婦養成所)に、物語の主人公・一ノ瀬りと大家直美は運命に誘われるように入所する。・・・養成所に集った同級生たちは、それぞれに複雑な事情を抱えていた。手探りではじまった看護教育を受けながら、彼女たちは『看護とは何か?』『患者と向き合うとはどういうことか?』ということに向き合っていく。」

このドラマの時代設定は、修道女たちが来潟した時期と重なる。伝えられている資料を読むことと、ドラマ「風薫る」を視聴することとの相互作用で、当時の修道女たちの生き生きとした活動が、目に浮かんでくる。

インフォメーション!

●信徒のみなさんへの「お知らせ」の方法について（小教区評議会）

- ①センター掲示板お知らせに掲載しています（外壁ガラス掲示板）のでご覧ください。
- ②「お知らせ」のある方は、9時半主日ミサでのお知らせと掲示板の貼り出し、月刊双塔への掲載をお願いします。（広報部アドレス：soutou1656@gmail.com）

●入門講座 主任司祭 田中神父にご相談ください。

●聖書勉強会

日時 毎週水曜日 午前10時～ **会場** センター研究室 **指導** 田中神父

●信仰養成講座

日時 毎月第2土曜日 午前10時～ **会場** センター研究室 **指導** 町田神父

※新約・旧約聖書を使います。各自ご持参ください。

●月曜会（秋田の聖母を通して祈る会：野村）

成井司教のミサとロザリオの祈り（どなたでも、ミサのみ参加も可）

今後の予定 6月29日(月)、7月13日(月)、9月28日(月)

時間 午前11時～ **指導** 成井司教 **会場** 新潟教会聖堂

※聖堂修繕工事期間中につき、自家用車等で来場の際の駐車については、現場の指示に従ってください。

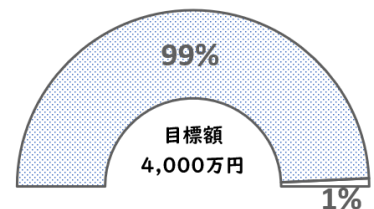
●教会維持費などの献金について（小教区評議会）

献金袋が無い方は、聖堂維持費棚の右下に袋があります。各自でご記入の上、日曜日に中央柱の維持費入に入れてください。

●聖堂修繕工事のための特別献金のこと（小教区評議会）

聖堂修繕工事のための特別献金 目標額 4,000万円

★2026年4月30日現在 累計額 3,941万円(進捗率：99%)
(1万円以下四捨五入)



●成井司教公式訪問（小教区評議会）

来る6月28日、成井司教様が新潟教会に公式訪問されます。司教様と新潟教会の貴重な交流の機会となります。是非ご参加ください。

●パウロ成井司教様 霊名の祝日（小教区評議会）

成井司教様の霊名の祝日（6月29日）にあたり、霊的花束をお贈りいたします。聖堂内に設置した用紙にご記入のうえ、箱にお入れください。（締切：6/26午前）

●「信仰の恵みと喜びの祝年」記念講演会（建設・記念事業委員会）

新潟教会誕生150年と現聖堂100周年を記念した「信仰の恵みと喜びの祝年」の開始に先立ち、記念講演会を開催いたします。

日時 7月5日(日) 9時半ミサ後

講師 Sr.三好千春氏（南山大学人文学部教授）

※後日、詳細についてチラシを配布する予定です。どうぞご覧ください。

●聖堂のマリア像について（建設・記念事業委員会）

聖堂のマリア像は、再塗装のため、6月から7月にかけて不在となります。

2026年6月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等、教会の行事
5日(金)	・ミサ 10:00 (初金)
7日(日)	キリストの聖体 (祭) (年間第10週) ・小教区評議会 (9:30 ミサ後 研究室) ・英語ミサ (12:00) ・清掃日 (センター、外のトイレ: 英語ミサ後)
12日(金)	イエスのみ心 (祭) ミサ 10:00
13日(土)	・信仰養成講座 (10:00 研究室/指導: 町田神父)
14日(日)	年間第11主日
21日(日)	年間第12主日 ・清掃日 (聖堂、外のトイレ、センター: 9:30 ミサ後) ・国際協力部会 (清掃後 研究室) ・広報部会 (清掃後 事務室) ・総務部会 (清掃後 事務室) ・ベトナム語ミサ (12:00)
24日(水)	洗礼者聖ヨハネの誕生 (祭) ミサ 10:00
28日(日)	年間第13主日、聖ペトロ使徒座への献金 ・成井司教新潟教会公式訪問、司教との交流会 (聖堂)、茶話会 (センター) ・教会維持費の整理 (9:30 ミサ後 事務室)
29日(月)	聖ペトロ聖パウロ使徒 (祭) ミサ 10:00 ・パウロ成井大介司教様 霊名の祝日

※ ミサ時間

日曜日 (7:00、9:30) 英語ミサ (第1日曜 12:00) ベトナム語ミサ (第3日曜 12:00)
火曜～木曜、土曜 (7:00) 金曜 (10:00)

★朝ミサ 7:00 は休止になることもあります。ご確認の上ご参加ください。

※ 聖堂開堂時間

毎日 9:00～18:00 (都合により左記時間に変更となる場合がございます)

